2026　年度　　授業概要

科目名		言語療法技術Ⅴ			授業の種類	演習	講師名			
授業回数	30回	時間数	60時間　(2単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年			必修・選択	必修	

〔授業の目的・ねらい〕

臨床検査に必要な評価に関する知識を深める。

〔授業全体の内容の概要〕

検査の意義と方法、診断、解釈、評価について実践的に理解する。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

検査の種類、測定内容の心理学的概念について概観し、検査利用の基本的知識の習得を目指す。さらに知能検査、性格検査の中から、代表的なものを紹介し、実習を含めて解説していく。

回数	講義内容
1	カルテからの情報収集について理解できる
2	言語聴覚療法の検査・評価について理解できる
3	言語聴覚療法のインテーク・スクリーニングについて理解できる
4	言語聴覚療法のインテーク・スクリーニングについて理解できる
5	言語聴覚療法の検査・評価（事例に基づき）について理解できる
6	言語聴覚療法の検査・評価（事例に基づき）について理解できる
7	音声言語機能検査、高次脳機能検査の手順について理解できる
8	音声言語機能検査、高次脳機能検査の手順について理解できる
9	音声言語機能検査、高次脳機能検査の評価について理解できる
10	音声言語機能検査、高次脳機能検査の評価について理解できる
11	音声言語機能検査、高次脳機能検査の評価について理解できる
12	音声言語機能検査、高次脳機能検査の評価（ICF）について理解できる
13	音声言語機能検査、高次脳機能検査の評価（事例に基づき）について理解できる
14	音声言語機能検査、高次脳機能検査の評価（事例に基づき）について理解できる
15	音声言語機能検査、高次脳機能検査の評価（事例に基づき）について理解できる
16	臨床ケース1（カルテからの情報収集について理解できる）
17	臨床ケース2（カルテからの情報収集について理解できる）
18	臨床ケース3（インテーク・スクリーニングの実践を経験する）
19	臨床ケース4（インテーク・スクリーニングの実践を経験する）
20	臨床ケース5（インテーク・スクリーニングの振り返りを理解する）
21	臨床ケース6（鑑別診断検査の演習）
22	臨床ケース7（鑑別診断検査の実践を経験する）
23	臨床ケース8（鑑別診断検査の実践を経験する）
24	臨床ケース9（鑑別診断検査の振り返りを理解する）
25	臨床ケース10（掘り下げ検査の演習）
26	臨床ケース11（掘り下げ検査の実践を経験する）
27	臨床ケース12（掘り下げ検査の実践を経験する）
28	臨床ケース13（掘り下げ検査の振り返りを理解する）
29	臨床ケース14（掘り下げ検査の振り返りを理解する）
30	まとめ

【　準備学習・時間外学習　】

【　使用テキスト　】

書籍名	著者名	出版社
高次脳機能障害学　第3版	石合純夫	医歯薬出版株式会社
言語聴覚士テキスト　第3版	大森孝一/永井知代子	医歯薬出版株式会社
言語聴覚士国家試験過去問題　3年間の解答と解説　2025年版	言語聴覚士国家試験対策委員会	大揚社

【　単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）　】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。